

平成30年度 学校評価アンケートの結果

H31年3月7日 四万十市立中村小学校

1 目的

学校評価アンケートの実施を通して、本校の教育活動及び学校経営への満足度を把握するとともに、成果と課題を整理し、次年度以降の学校運営及び教育活動の改善に役立てる。

2 実施期間

平成30年12月10日（月）～12月18日（月）

3 対象者

①全学年の保護者 ②全校児童 ③「学校支援地域本部」運営委員（保護者除く）

4 実施方法

①保護者は封書で学級担任が回収 ②児童は学級担任が実施・回収
③「学校支援地域本部」運営委員は封書で学校へ

5 回収率

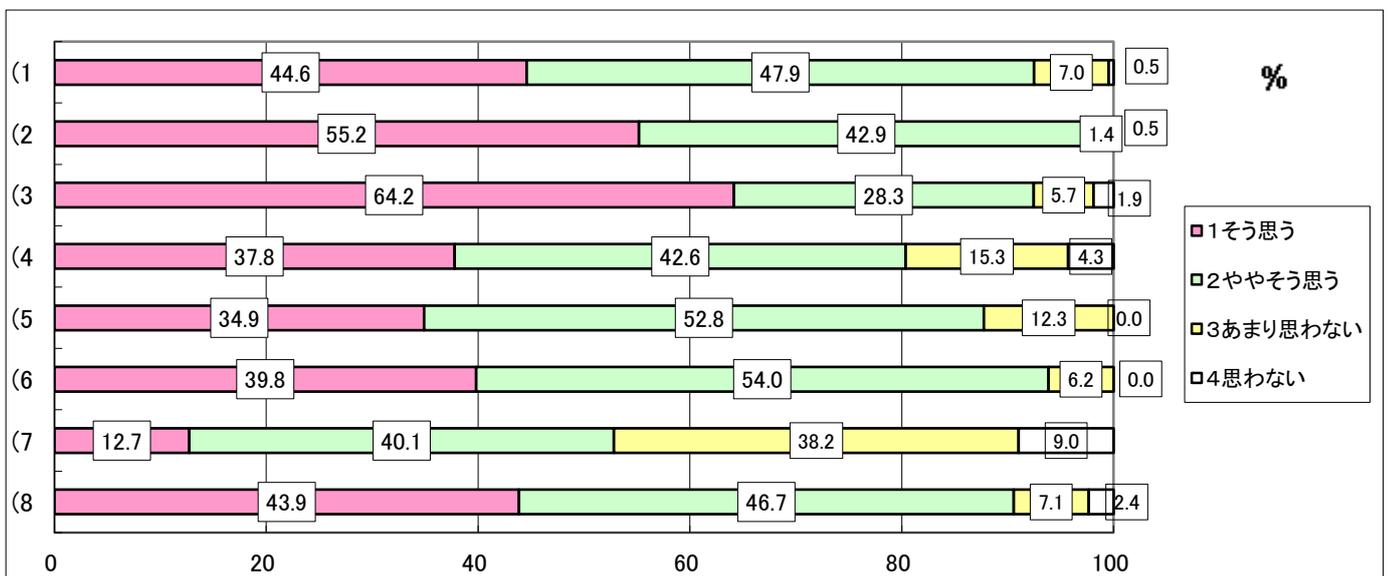
①保護者：91.1% ②児童：97.9% ③「学校支援地域本部」運営委員：100%

6 集計結果

(1)【保護者】

人数

学校生活について		そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない
(1)	お子さんは、学校生活に満足している	95	102	15	1
(2)	先生は、わかりやすい授業に努めている	117	91	3	1
(3)	お子さんは、家庭学習を毎日している	136	60	12	4
(4)	悩みや困ったことについて、気軽に教職員に相談できる	79	89	32	9
(5)	お子さんは、挨拶ができています	74	112	26	0
(6)	お子さんは、交通ルールを守り、安全に気をつけています	84	114	13	0
(7)	お子さんは、使ったもののあと片付けができています	27	85	81	19
(8)	学級通信や各種便り等積極的に学校の様子を伝えています	93	99	15	5



平成28年度～の学校評価アンケートと同じ内容の項目について肯定的評価を比較（％）

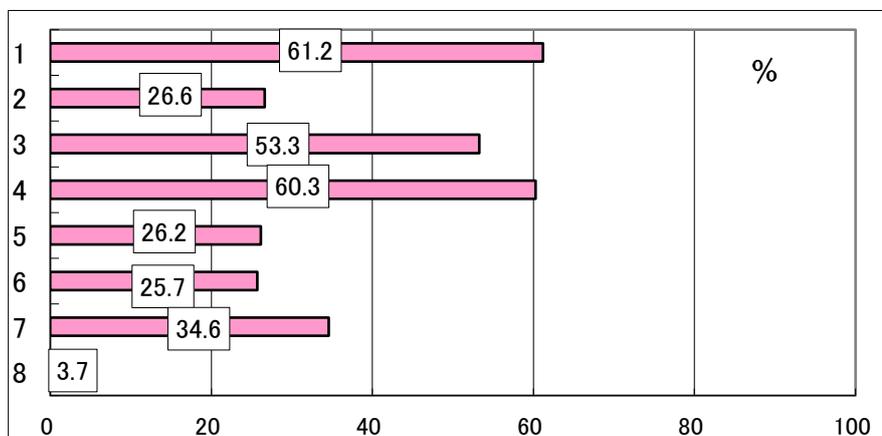
昨年度と同じ内容の質問項目	28年度	29年度	30年度
お子さんは、学校生活に満足している	93.3	97.1	92.5
先生は、わかりやすい授業に努めている	82.0	98.0	98.1
お子さんは、家庭学習を毎日している	81.6	92.2	92.5
悩みや困ったことについて、気軽に教職員に相談できる (H28は、「学校は保護者の悩みに親切に対応している」)	89.5	85.5	80.4
お子さんは、挨拶ができています	88.2	91.8	87.7
お子さんは、交通ルールを守り、安全に気をつけています	91.2	95.5	93.8
学級通信や各種便り等積極的に学校の様子を伝えている	93.0	93.4	90.6

★ほとんどの項目で90%以上の肯定的評価であるが、「悩みについて、気軽に教職員に相談できるか」の項目は、肯定的評価が昨年度より5.1%減少している。

更に不安や悩みが相談できる窓口（学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職等）を保護者に広く知らせるよう努めていきます。

今後、学校に力を入れて取り組んで欲しいこと（3つまで選択）		人数
(1)	わかりやすい授業をする	131
(2)	教職員の資質・指導力を向上させる	57
(3)	社会のルールや決まりを守る指導に力を入れる	114
(4)	いじめや暴力行為を根絶する	129
(5)	道徳教育や人権教育に力を入れる	56
(6)	将来のことについて考えるキャリア教育に力を入れる	55
(7)	不審者対策や防災対策など安全教育に力を入れる	74
(8)	その他	8

人数



- (8) その他 力を入れて欲しい内容
- ・子ども達が先生に相談しやすい環境づくり
 - ・自己肯定力の向上
 - ・文章や話し方など表現力
 - ・カヌー体験など、四万十市ならではの課外授業
 - ・児童理解
 - ・教育の和

★力を入れて取り組んで欲しいと願っている内容で50%を超えていたのは、

- ①わかりやすい授業をする（61.2%）・・・（昨年度52.2%）
- ②いじめや暴力行為を根絶する（60.3%）・・・（昨年度53.9%）
- ③社会のルールや決まりを守る指導に力を入れる（53.3%）・・・（昨年度53.1%）

となっており、ベスト3は、昨年度と順位は違うが、同じ項目でした。

「わかりやすい授業」については、来年度が新学習指導要領の移行期間最終年度でもあり、「資質・能力ベースの授業」を更に追究しつつ、児童と「わかる、できる」を確認して進めていきたいと思えます。

また、相手のことを考えての言動に課題があることから、思いやりの心を育む道徳教育、自尊感情を高める人権教育、児童会の自治活動などに力を入れていくと同時に、携帯電話や通信ゲームに関わるトラブルも増えており、関係機関の力を借りながら、情報モラル教育も計画的・意図的に進めていきます。また、教員は、児童理解の力をより一層高めていくよう、まずは児童の話をよく聞き、カウンセリングマインドを大事にして教育活動を進めていくよう務めます。

★本校でも「ふるさと教育」に力を入れ、地元ならではの学習としては、昨年度から「総合的な学習の時間」のカリキュラムを見直し、山の学習、川の学習（カヌー体験含む）などの体験活動も取り入れて学習を進めています。

★その他（抜粋）

「いつもお世話になっております。我が子は学校生活にととても満足していると思えます。今後ともよろしく願います。」

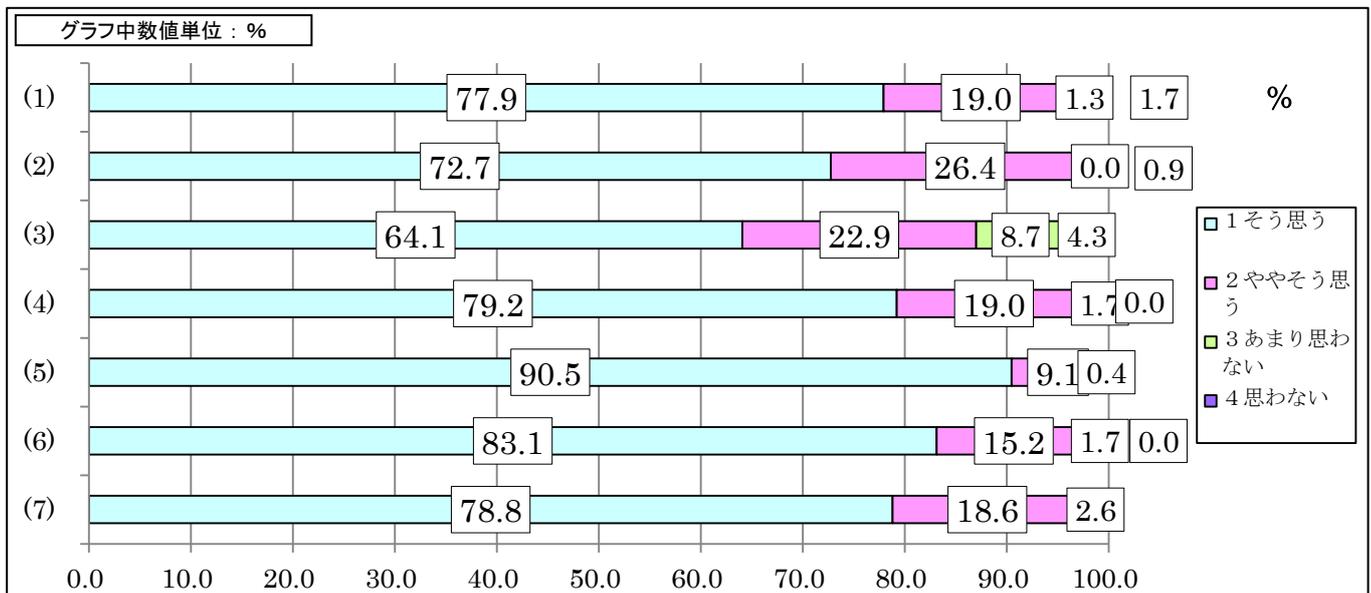
「担任の先生のおかげで、楽しく学校生活を送れています。友達との仲も良く、家で友達の名前が数多く挙がります。」

「いつもお世話になっております。先生方のご指導等とても満足しています。今後ともよろしく願います。」

(2)【児童】

人数

学校生活について		そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない
(1)	学校生活は楽しいですか	180	44	3	4
(2)	授業がよくわかりますか	168	61	0	2
(3)	悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか	148	53	20	10
(4)	学校や地域であいさつができていますか	183	44	4	0
(5)	交通ルールを守り、安全に気を付けていますか	209	21	1	0
(6)	トイレのスリッパや使ったものなど、あと片付けができていますか	192	35	4	0
(7)	集会などのとき、静かに集まり、話を聞いていますか	182	43	6	0



平成28年度～の学校評価アンケートと同じ内容の項目について肯定的評価を比較（%）

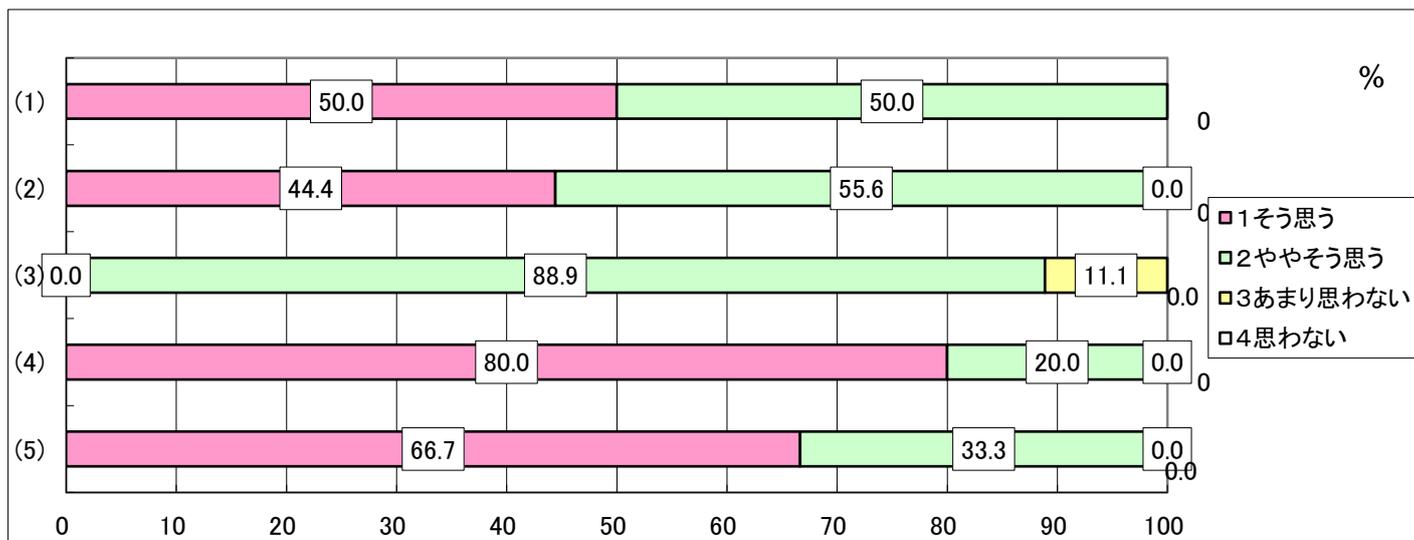
昨年度と同じ内容の質問項目	28年度	29年度	30年度
学校生活は楽しいですか	92.1	96.3	96.9
悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか (H28は、「先生は話をきいてくれますか」)	94.4	88.0	87.0
授業がよくわかりますか	92.3	99.2	99.1
学校や地域であいさつができていますか	89.7	97.1	98.2
交通ルールを守り、安全に気を付けていますか	98.0	99.6	99.6

★肯定的評価の割合は、「先生に気軽に悩みの相談」は、87%と下降傾向にあり、5項目のうち、唯一90%以下となっています。これまで以上に、相談しやすい雰囲気づくりと、一人一人の子どもに寄り添えるよう、今後更に児童理解に努めていきます。

(3)【学校支援地域本部 運営委員（保護者等除く）】

人数

学校生活について		そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない
(1)	児童は意欲的に学校生活を送っている	4	4	0	0
(2)	児童は、学校や地域であいさつができています	4	5	0	0
(3)	児童は、交通ルールを守り、安全に気をつけています	0	8	1	0
(4)	学校は、掃除が行き届き、整理整頓ができています	8	2	0	0
(5)	学校は、学校便りやHP等で積極的に学校教育の様子を伝えている	6	3	0	0

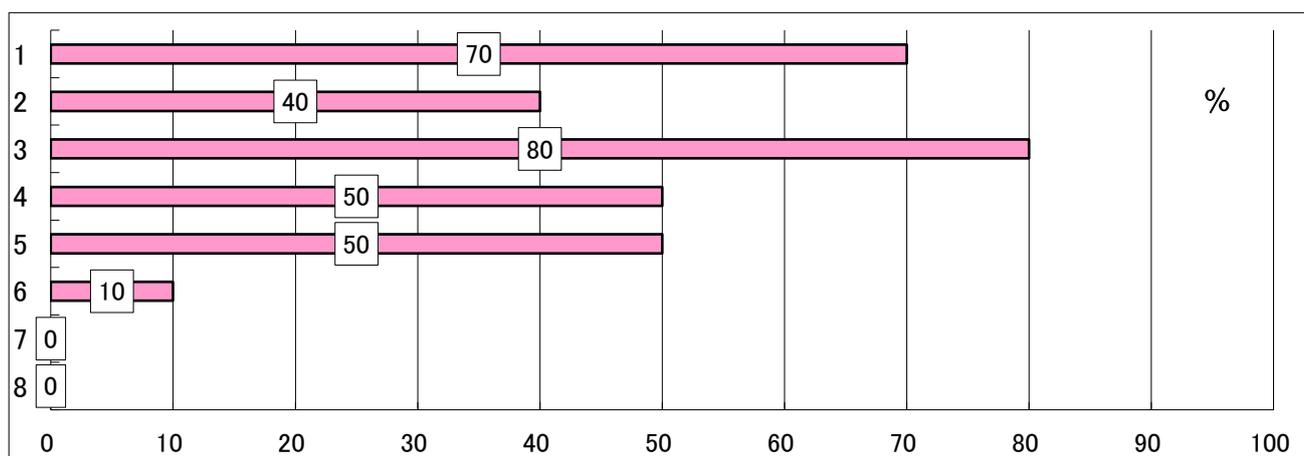


平成27年度の学校評価アンケートと同じ内容の項目について肯定的評価を比較 (%)

27年度と同じ内容の質問項目	27年度	29年度	30年度
児童は意欲的に学校生活を送っている	100	100	100
児童は、学校や地域であいさつができています	100	88.9	100
児童は、交通ルールを守り、安全に気をつけています	100	100	88.9
学校は、学校便りやHP等で積極的に学校教育の様子を伝えている	100	100	100

★平成28年度は、地域の方のアンケートをとっていないため27年度と比較しています。児童会でも、「いつでも どこでも 心から」を合い言葉に、あいさつに力を入れて取り組んできたので、肯定的評価が100%となりました。しかし、昨年度もご意見としていただいていた「交通ルールや安全」については、自転車の乗り方や、交差点に入るときの完全確認など、まだ不十分な児童が目撃されており、心配される現状もあるので、保護者・地域の方と連携して、交通指導に引き続き力を入れていきます。

今後、学校に力を入れて取り組んで欲しいこと（3つまで選択）		人数
(1)	わかりやすい授業をする	7
(2)	教職員の資質・指導力を向上させる	4
(3)	社会のルールや決まりを守る指導に力を入れる	8
(4)	いじめや暴力行為を根絶する	5
(5)	道徳教育や人権教育に力を入れる	5
(6)	将来のことについて考えるキャリア教育に力を入れる	1
(7)	不審者対策や防災対策など安全教育に力を入れる	0
(8)	その他	0



★力を入れて取り組んで欲しいと願っている内容で50%を超えていたのは、

①教職員の資質・指導力を向上させる（55.6%）

②いじめや暴力行為を根絶する（55.6%）

となっており、特に「いじめや暴力行為を根絶する」ことは、保護者が1番に望んでいることと重なっています。

「安全・安心な学校」は、最も重要なことです。児童が安心して学校生活を送れることで、伸び伸びと自分の能力を発揮できます。優しい思いやりの心が持てるような取り組みを充実させていきたいと思います。

★2月28日に行った学校支援地域本部運営委員会で、「今年度は、地域のボランティアスタッフが学校に入る機会が多くあり、児童に関わることで学校の取り組みがわかると共に、児童や教員とつながりができた。2月に近隣の市町村で起こった強盗事件のこともあり、地域で見守り活動をしていく上でも、顔見知りになり声をかけやすい状況をつくることは大切だとあらためて実感した。卒業する6年生の保護者にも、来年度ボランティアスタッフとしての募集を依頼すると良い。また、引き続き読書活動にも力を入れて欲しい。正面玄関前の保護者の車による送迎については、まだ徹底できておらず、危険なので引き続き注意喚起していくように。」などの意見が出されました。いただいたご意見を来年度に生かしていきたいと思います。